

平成22年9月定例議会

平成22年9月7日（火）

村長 提案説明

本日ここに、平成22年朝日村議会9月定例会を招集いたしました所、議員の皆様方にはお揃いでご出席をいただき、厚くお礼を申し上げます。

まず初めに、この9月1日、県民の期待を担ってスタートいたしました阿部新知事に対し、この場をお借りして改めて心からお祝いを申し上げます。

阿部知事におかれましては、長野県民として、都市型の政治を進めるのではなく、まず、県民の目線に立って県民のために、時代に即した県政運営をご期待申し上げるものでございます。

また、村井前知事におかれましては、4年間に亘り長野県政発展のため様々な課題に取り組まれ、知事と県民、知事と市町村、知事と県職員との関係など多くの信頼関係の構築をされ、リーマンショック以来の景気の低迷にも永い行政経験を生かされ、県民のリーダーとして積極的な取り組みをされました。

改めて、深く敬意を表すと共に、ご慰労申し上げるものでございます。

さて、9月に入りましても松本地方は猛暑日が続いておりますが、今夏の状況につきまして、去る1日に長野地方気象台が、今年の夏6月から8月の気象状況を発表いたしました。これによりますと夏場3ヶ月の平均気温は明治31年、112年前から統計を開始して以来観測史上最高気温となりました。特に7月17日の梅雨明け後は、連日30℃以上の真夏日となり35℃以上の猛暑日が続くなど酷暑の夏となり、熱中症による犠牲者が多発し、地元の松本広域管内でも熱中症の救急搬送は79件と過去最大の状況でありました。

幸いにも、今朝日村においてはこのような事例はなく安堵している所でございますが、引続き村民の皆様には水分の補給など体調には充分ご留意をいただきたいと存じます。

この様な気象条件の中で、今朝日村の主産業であります農業につきまし

て、本年は春先の低温、6月の野菜価格の暴落により前半は厳しい状況での推移でしたが、夏場、高温の環境では、数量、価格ともに上昇し、販売額では、8月末現在昨年を上回る104%の伸びとお聞きいたしております。

いずれにいたしましても、現在の残暑、酷暑の中でも、古見原、西洗馬原の農地につきましては、35年前の昭和50年に中信平総合開発事業により畑地かんがい施設が整備された事により、秋野菜の植付、定植作業が早ばつの影響もなく進められております。

この事は、先人が取組みました朝日農業への想いに感謝の念を忘れてはならないものでございます。

それでは、朝日村が当面しております懸案事項等につきまして申し上げます。

初めに、本年度新規に取組みました事案につきまして、5ヶ月が経過しておりますので若干申し上げます。

少子高齢社会が進行し人口減少時代を迎えている中では、いかに人口の確保、人口増対策を図るかは大きな課題でございます。そこで未婚者対策、人口流入対策、働く場所の確保対策、子育て支援対策、誰でも安心して住める魅力のある村づくり等々が挙げられますが、まず人口流入対策として、本年度から定住促進担当を配置した取組みを行いました。

現在は、空き家登録が3件、手続中が3件でございます。その内1件が空き家改修等補助制度を利用され入居いたしております。

なお、8月までの空き家情報の問合せは17件あり、その内入居利用登録は4件という状況でございます。

次に、働く場所の確保のため工場誘致等に積極的に取り組んでおりますが、まずは、我国のデフレ現象からの脱却、そして世界経済の成長により我国経済の回復を、また円高による輸出産業の低迷は、まさにグローバル化した世界経済の中で、先を見通した迅速で的確な政府の対応が求められております。

この様な中で、本年度カンロ株式会社の1期工事につきましては、順調に進捗いたしております。来春の稼動に期待をいたしております。

また、株式会社東京堂の工場拡張要望に伴う取組みでございます。現在、原新田工業団地で操業されております工場の拡張につきましては、現在の工場の東側続きの2haにつきまして、地権者、下流の2期開田、及び墓

地に関係する皆さんとの協議が整いましたので、同時に関係する諸手続を進めてまいりました。現在は、農地転用申請及び開発行為許可の申請中であり、この2件が許可され次第用地買収に入り、来年3月中旬を目途に造成工事を終了し、年度内に株式会社東京堂へ用地の売渡しを行いたいと考えております。

なお、平成17年に誘致をしました株式会社IHIシバウラにつきましては、先程申しあげました我国の経済社会状態を諸に受けておりまして、過日、西村社長と懇談をした折、現在は先の見通しが立たない状況であり、暫くの間は当初計画しました2期、3期工事に着手できない実態でございます。

次に、子育て支援対策につきましては、4月にオープンいたしました「わくわく館」は大変好評をいただき、保育園に入園していない未就園児は、保護者と共に、また小学生につきましては、放課後を始め夏休みの利用等、わくわく館職員により予め計画をしたカリキュラムに添い、小学校とも連携が図られ、活動をされております。

しかも、高齢者が毎週火曜日から金曜日まで週4日間「いきなサロン」として利用されておりまして、順調なスタートとなっております。

そして、本年度改正をいたしました保育料につきましても、子育て支援の一環といたしまして、近隣の市村では最低の料金で保護者の負担を大幅に軽減いたしております。

また、子育て支援の充実は、人口増対策の大きな柱でございますことから、今回新規に子宮頸がんを予防するワクチン接種につきまして、10代前半の女子に接種すれば、子宮頸がんの発症を約70%予防が可能と言われ、高い効果が期待されております。当朝日村では、本年度から小学校6年生、12歳を対象にワクチン接種の全額補助を行うため、今定例会に補正予算をお願いしております。

この件につきましては、国、厚生労働省が来年度の予算要求を行うと報道されております。

なお、県内市町村では、根羽村、南牧村の2村が全額補助を実施いたしております。

次に、健康センターの開設につきましては、ご案内のとおり再利用計画が叫ばれておりました旧多目的施設を大改修し、村民の健康管理の拠点として4月にスタートをいたしました。以来、各種健康診断を始め、健康相談など順調に進めております。

なお、村民の皆様の健康管理ではアポレキシー（脳卒中）のない健康村活動を通して、本年度は村内 20 ヶ所で年 3 回ずつ出前健康講座を行い、自分自身の健康は自分で守る意識の高揚と、予防に対する認識を深めていただくため、それぞれの出前講座に、より多くの皆さんの参加を願うものでございます。

次に、下水道処理施設統合に伴います針尾、大道、御馬越施設の後利用につきまして、7月に針尾、大道の加工所がOPENいたしました。

針尾加工所は、特産品を考える会の活動拠点として、従来の柿ドレッシング、柿ソースを始め、餅つき機を導入いたしましたので、村民の皆様の参加機会が増える事に期待をいたしております。

また、大道加工所につきましては、村民の皆様が何時でもご利用いただける加工施設として、今の時期はシソ、トマト、ブドウ、リンゴ等のジュースやケチャップ造りに、冬季は自家用味噌造り等に、より多くの村民の皆様から関心を持っていただき、ご利用いただけますよう期待をいたしております。

御馬越の朝日村里づくり館につきましては、今月の27日にOPENの運びとなり、間伐材を利用したバイオエタノールを始めとする実験研究施設として、NPO法人による運営が始まる事となりました。当朝日村といたしましては、時代の先端への取組みとなります事から注目してまいり所存でございます。

次に、本年度実施いたしました太陽光発電の補助制度につきましては、当初予算でお認めいただきました予算100万円につきまして、早速応募があり既に当初予算は全額支出しております。現在未対応の申込が2件ありますので、今定例会に追加補正をお願いしてございます。

次に、県道御馬越塩尻停車場線整備促進期成同盟会についてでございます。

この同盟会は、昭和58年に塩尻市と朝日村を結ぶ重要な幹線道路として、塩尻市と連携して整備促進を県に要望して来た所でございます。

この活動で幾多の成果を挙げて来ましたが、昨今の社会経済情勢の変化、住民ニーズの多様化等を考慮し、本年度を持って本同盟会を解散することとなりました。

今後につきましては、本県道につきまして、従来通り市村で連携を図り、真に必要な道路の整備について、県に対し整備促進を継続して要望してい

くものでございます。

次に、塩尻・朝日衛生施設組合のごみ処理計画についてでございます。

この事につきましては、6月議会で若干申しあげておりますが、塩尻・朝日衛生施設組合の焼却施設でありますクリーンセンターは、運転開始後20年目を迎え、約8億円といわれております大規模改修が必要となっております。今回、改修工事8億円を投入いたしましても、10年後には、改めて新炉の建設が必要とされ、50億円の投資が見込まれております。この改修工事計画は、本年度と来年度に実施するとしておりまして、現在改修事業を延期している状態でございます。

また、ごみの排出量につきましては、分別収集の徹底や昨今の社会経済環境を反映して、可燃ごみにつきましては当初計画より減少傾向となっております。

そこで、近隣の各市村とも可燃ごみの将来計画を見据えた中で、去る7月に、松本西部広域施設組合管理者の松本市長から、ごみ処理広域化への取組み提案がされました。これを受け、当塩尻・朝日衛生施設組合と松本西部広域施設組合とが、ごみの広域処理について具体的な検討を始めたところでございます。

今後は、両組合の廃棄物処理の事務形態の違いを見極めながら、ごみ共同処理の具体的な内容について、協議し調整してまいり所存でございます。

なお、進捗状況及び経過等につきましては、必要に応じ議会に相談してまいり所存でございます。

次に、財政の健全化についてでございます。

私は、朝日村が、朝日村として持続して行くために、また、村民の皆様が、安心して暮らせる村づくりのために、財政の健全化・安定化は、極めて重要な課題として取り組んでまいりました。

今定例会では、村が取り扱っております、8会計の決算認定をお願いしてございますが、お陰様で就任以来、議員の皆様を始め村民の皆様のご理解とご協力により、また職員の努力により、村の財政は健全化・安定化に向け着実に成果を挙げてきております。

そこで、各自治体の健全化を表します、国が示す4つの指標（項目）のうち、特に借金の返済比率を表します実質公債費比率につきましては、昨年度20年度決算で目標の18%をクリアし、16.3%となりましたが、本年度21年度の決算では、更に1.6ポイント改善され、14.7%となりました。また、村が抱えております起債、いわゆる借金と、将来に亘り負担

が義務づけられております債務負担を合わせました全会計では、就任時90億円でございましたが、21年度決算で70億円となり、20億円の減額をする事ができました。

そして、貯金に当たります積立金につきましては、就任時9億6千万円でありましたが、21年度決算では13億8千万円となりまして、3年で4億円の貯金をする事ができました。

この、決算内容で重要なことは、経常収支比率でございます。経常収支比率が高い程硬直した財政内容であり、新しい施策への投資ができない状況となります。この様な状況で新しい事業に取り組むと、借金をしなければできなくなります。

当朝日村の経常収支比率は、21年度決算77.7%となりまして、昨年度20年度決算では77.3%で、県内80市町村の中で良い方から11番目でございますので、本年度も良好と捉えております。この事が、村内各種公共施設の改修等に、大型の投資ができました裏付となるものでございます。

なお、21年度決算報告による県内全市町村の公表は、今月の中旬以降になると言われております。

それでは、只今上程されました議案につきまして、ご説明を申しあげます。

本日、提案いたしました議案は、専決処分1件、協議1件、公有財産の譲渡1件、条例3件、決算8件、予算5件の計19件でございます。

まず、議案第54号の専決処分につきましては、議会を召集する時間がなく専決したものでございます。

次に、議案第55号の協議につきましては、税の滞納整理につきまして、県内の全自治体が広域連合を組織して対応をするものでございます。

次に、議案第56号につきましては、機会ある毎に申しあげて来ておりますが、来年23年7月にはテレビのデジタル化に伴いまして、有線テレビ放送を、株式会社テレビ松本ケーブルテレビジョンに、設備を無償譲渡するものでございます。

次に、議案第57号は、企業立地促進法に基づき、固定資産税の減免をする条例の制定でございます。

次に、議案第58号は、村営住宅への暴力団員の入居について、塩尻警察署と協議した結果、制限をするものでございます。

次に、議案第59号は、国の指導に基づき、職員の給与条例を改正するものでございます。

次に、議案第60号から67号の平成21年度決算について申し上げます。

平成21年度の一般会計と7つの特別会計を合わせた決算総額は、歳入が47億3,798万円、歳出が45億1,700万円となりました。形式収支は2億2,098万円、また、翌年度へ繰り越す財源を差し引いた実質収支は、1億7,402万円で、それぞれの会計で黒字決算となりました。

このうち、一般会計につきましては、歳入が31億9,428万円、歳出が30億3,490万円となり、形式収支は1億5,937万円、また、実質収支は1億1,241万円の黒字決算となりました。

一方、特別会計でも全7会計で黒字、若しくは、収支均衡の決算となりました。

昨年度、一般会計で取組みました主要な事業について、若干申し上げます。

懸案でありました堤防道路の買収、及び対応が遅れておりました内山沢河川の改修等に、事業費1億4,153万円、下水道処理施設の統合に1億3,705万円、公民館及び周辺施設の整備等に7,361万円、小学校の校舎、教材機器及び備品等に5,645万円、鳥獣被害防止対策フェンスの設置に2,534万円、公共交通対策の定期バス、デマンドタクシーの運行に2,523万円等が主なものでございます。

これらの総額は、4億5,921万円となりまして、近年にない投資を行うことができました。

特に、公共施設の改修につきましては、従来から修理が延び延びになっておりまして、今回の事業により施設の長持ち、いわゆる施設の延命対策を行なうことができました。

次に、議案第68号から72号につきましては、本年度の補正予算でございます。

このうち、議案第68号の一般会計につきましては、298万円を追加し、予算総額を24億4,319万円とするものでございます。

主なものでは、先程子育て支援の中でも申しあげておりますが、小学校6年生を対象に、村内医療機関の協力をいただき、子宮頸がん予防接種の補助金、及び太陽光発電設置の補助金を追加するものでございます。

以上、本日提案いたしました議案等につきましてご説明申しあげましたが、決算につきましては会計管理者から、条例、予算等につきましては、担当課長及び担当者に補足説明をさせますので、よろしくご審議を賜りますようお願い申しあげます。